



「品質月間特集」

大同特殊鋼グループ全体の品質管理改善活動と品質教育
大同特殊鋼株式会社

（HP 寄稿通算回数）

大同特殊鋼グループでは、昨今の大きく変化する社会環境の中、2006年から、品質担当役員を委員長とした「大同特殊鋼グループ品質保証委員会」活動を実施しています。（委員：大同特殊鋼各工場の工場長、グループ内の製造会社の品質保証部門長）

委員会では、情報共有化による「重要課題の早期解決」、共通課題の改善による「品質クレームの未然防止」、ベース活動による「品質保証基盤強化」などを図り、大同特殊鋼グループとして更にお客様の信頼を確固たるものにするための活動を展開しています。

＜品質保証委員会の主な活動＞

施策

- | | |
|--|---|
| <p>(1) 品質情報の共有化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全社の総知結集 ・水平展開活動 | <p>(2) 共通品質課題の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・識別管理強化
(ツールの拡大、教育) ・変化点管理の強化 ・初物工程変更管理の強化 |
| <p>(3) ベース活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分析分科会 ・非破壊検査分科会 ・火花検査分科会 | <p>鋼材品質保証の基盤3技術
「人財育成」「精度管理向上」
「新技術」
の視点で改善に取り組み</p> |

分科会における人財育成（例）



超音波探傷試験競技会

効果

- ・重要品質課題の早期解決
- ・品質クレームの未然防止
- ・品質クレームの確実な再発防止
- ・品質保証基盤強化（含、人財育成）

また、当社では、「品質は現場で造り込む」との基本思想から、第一線作業者に対する品質教育に力を入れています。QC 手法を階層別に全社員に対して教育し、それらの手法を自主管理活動など現場改善活動の実践で活用し、大きな成果を得ています。なお、優れた自主管理活動を行ったグループに対しては表彰を行い、更なるモチベーションアップに努めています。スタッフにおいても、ものづくり力の向上を目的に、2009年から「品質調査実践講座」を開講しています。これは、座学と実習により、製品の出来栄を評価する機械・内質試験に対する理解を深めることを狙いとしています。

＜品質教育の活動例＞

自主管理活動テーマ数
大同本体：約 2066 テーマ/年
(内、品質関連 281 テーマ)
グループ：約 1235 テーマ/年



大同グループ 小集団活動発表大会



品質調査実践講座